

令和元年度

事業報告書

## 令和元年度 事業報告

令和元年度は、「地域包括ケア社会の実現に向けた行動計画」としての性格を有する地域福祉活動計画（第5次）の2年目を迎え、計画や重点事業に位置付けた「地域支え合い活動の推進」、「権利擁護の推進」、「多様なボランティア活動の推進」を中心に、各種事業に取り組みました。

先ず、「地域支え合い活動の推進」については、地域福祉活動の推進母体である15地区の地区地域福祉推進委員会に対する支援を行いました。また、地域福祉コーディネーターは、個別支援・地域支援に取り組むとともに、生活支援コーディネーターとして、地域の中で地域福祉推進委員会や第2層厚木市生活支援体制整備協議体と連携し、住民同士が互いに助け合い、支え合うことのできる仕組みづくりや居場所づくり等の推進に努めました。

次に、「権利擁護の推進」については、厚木市権利擁護支援センター事業として、成年後見相談や終活相談の実施など高齢者等の支援を行うとともに、市民後見人との複数後見による法人後見を実施し、権利擁護の推進に努めました。また、日常生活自立支援事業では、判断能力が十分でない高齢者や障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、福祉サービスの利用手続きの支援や金銭管理等を行いました。

「多様なボランティア活動の推進」については、地域福祉の一翼を担うボランティアを養成するため、各種ボランティア養成講座を実施するとともに、ボランティア情報の提供に努めました。また、地区の福祉活動に携わる人材の発掘・養成と担い手の確保及び受講者のその後の継続的な地域活動を支援するため、地区地域福祉推進委員会と共催で新たに「地域ボランティア養成講座」を開催しました。さらに、本会の大きな使命である災害救援ボランティア支援センターを円滑に運営できるよう、運営スタッフ養成講座を実施し、スタッフの増員を図りました。

これら重点事業のほか各種事業については、行政や福祉関係機関等との連携・調整を図りながら、効果的かつ効率的な事業の実施に努めたほか、フェイスブックによる情報発信や賛助会員への加入促進のため、法人訪問等により加入の働きかけを行うなど、本会事業への理解を深めていただく取組を行いました。また10月には、（医）三思会との共催により、地域包括ケア社会の実現に向けた意識の高揚を図ることを目的に、関係者及び市民を対象に、シンポジウムを開催しました。

重点事業及び各種事業の実施状況については、次のとおりです。

# 1 法人事業

## (1) 法人運営事業【135,982,760円】

### ① 法人運営に係る会議等の開催

#### ア 理事会

1	開催日	令和元年 5月30日(木)
	場所	厚木市保健福祉センター
	出席者	理事10人、監事2人
	審議事項等	(1) 議案第1号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 経理規程の一部を改正する規程について (2) 議案第2号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 正規職員の給与規程の一部を改正する規程について (3) 議案第3号 平成30年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 事業報告について (4) 議案第4号 平成30年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 決算について (5) 議案第5号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 理事及び幹事の候補者について (6) 議案第6号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 評議員会の招集について (7) 報告事項1 地域福祉活動計画(第5次)の実施状況について (8) 報告事項2 職務執行状況報告について (9) 報告事項3 厚木市による指導監査の結果について
2	開催日	令和元年 6月21日(金)
	場所	厚木市保健福祉センター
	出席者	理事10人、監事2人
	審議事項	(1) 議案第7号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 会長の選定について (2) 議案第8号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 副会長の選定について (3) 議案第9号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 常務理事の選定について (4) 議案第10号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 評議員選任・解任委員の選任について

3	開催日	令和2年 1月23日(木)
	場所	厚木市保健福祉センター
	出席者	理事10人、監事2人
	審議事項等	<p>(1) 議案第11号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 正規職員の給与規程の一部を改正する規程について</p> <p>(2) 議案第12号 緊急援護資金貸付金の償還免除及び債権の放棄について</p> <p>(3) 議案第13号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 理事の候補者について</p> <p>(4) 議案第14号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 評議員会の招集について</p> <p>(5) 報告事項1 地域福祉活動計画(第5次)の実施状況について</p> <p>(6) 報告事項2 職務執行状況報告について</p>
4	開催日	令和2年 3月18日(水)
	場所	厚木市保健福祉センター
	出席者	理事9人、監事2人
	審議事項	<p>(1) 議案第15号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 副会長の選定について</p> <p>(2) 議案第16号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 居宅介護事業所運営規程等の一部を改正する規程について</p> <p>(3) 議案第17号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 正規職員の給与規程の一部を改正する規程について</p> <p>(4) 議案第18号 令和2年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 事業計画について</p> <p>(5) 議案第19号 令和2年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 資金収支予算について</p> <p>(6) 議案第20号 社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 評議員会の決議の省略について</p>

イ 評 議 員 会

1	開催日	令和元年 6月20日(木)
	場 所	厚木市保健福祉センター
	出席者	評議員17人、監事2人
	審議事項等	<p>(1)議案第1号 平成30年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 事業報告について</p> <p>(2)議案第2号 平成30年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 決算について</p> <p>(3)議案第3号 理事の選任について</p> <p>(4)議案第4号 理事の選任について</p> <p>(5)議案第5号 理事の選任について</p> <p>(6)議案第6号 理事の選任について</p> <p>(7)議案第7号 理事の選任について</p> <p>(8)議案第8号 理事の選任について</p> <p>(9)議案第9号 理事の選任について</p> <p>(10)議案第10号 理事の選任について</p> <p>(11)議案第11号 理事の選任について</p> <p>(12)議案第12号 理事の選任について</p> <p>(13)議案第13号 監事の選任について</p> <p>(14)議案第14号 監事の選任について</p> <p>(15)報告事項1 地域福祉活動計画(第5次)の実施状況について</p> <p>(16)報告事項2 厚木市による指導監査の結果について</p>

2	開催日	令和2年 2月 5日(水)
	場 所	厚木市保健福祉センター
	出席者	評議員19人
	審議事項等	(1)議案第15号 緊急援護資金貸付金の償還免除及び債権の放棄について (2)議案第16号 理事の選任について (3)報告事項1 地域福祉活動計画(第5次)の実施状況について
3	決議日	令和2年 3月27日(金)
	決議方法	定款16条第4項の規定に基づく決議
	同意者	評議員20人
	審議事項	(1)議案第17号 令和2年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 事業計画について (2)議案第18号 令和2年度社会福祉法人厚木市社会福祉協議会 資金収支予算について

#### ウ 監 査

開催日	令和元年 5月17日(金)
場 所	厚木市保健福祉センター
出席者	監事2人
監査事項	(1)理事の業務執行の状況について (2)法人の財産の状況について

#### ② 役員等研修会

県央都市社会福祉協議会連絡協議会が開催する役員研修会に参加しました。

開催日 令和元年11月12日(火)

会 場 座間市立総合福祉センター

内 容 テーマ「ファンドレイジングの事例と社協運営の動向」

講 師 (一社)日本地域福祉ファンドレイジングネットワーク COMMNET  
理事長 久津摩 和弘 氏

#### ③ 会員募集運動

一般会員会費と賛助会員会費を合わせた納入総額19,364,107円

ア 一般会員会費 605,000円

第1種会員から第7種会員の合計121団体の一般会員会費(@5,000円)

イ 賛助会員会費 18,759,107円

(7) 個人

自治会を通して各世帯に賛助会員会費の納入を依頼(@500円)

(イ) 法人

ダイレクトメールにより各法人に賛助会員会費の納入を依頼(@1,000円)

※ 賛助会員会費の実績 (単位：円) (単位：世帯、法人)

地区名	会 費		会費合計	会員数		会員合計
	世 帯	法 人		世帯数	法人数	
厚木北	1,042,638	515,812	1,558,450	5,027	107	5,134
厚木南	1,069,600	249,000	1,318,600	2,764	35	2,799
依知北	1,069,630	182,352	1,251,982	3,135	38	3,173
依知南	995,550	117,352	1,112,902	2,470	27	2,497
睦合北	637,300	137,460	774,760	2,104	21	2,125
睦合南	1,067,370	134,000	1,201,370	5,105	32	5,137
睦合西	842,900	72,000	914,900	2,314	16	2,330
荻野	1,917,600	148,244	2,065,844	6,459	33	6,492
小鮎	1,476,400	110,000	1,586,400	3,287	26	3,313
南毛利	2,493,778	208,450	2,702,228	9,028	51	9,079
南毛利南	1,004,350	92,000	1,096,350	2,586	25	2,611
玉川	459,000	98,000	557,000	928	18	946
森の里	624,953	8,000	632,953	2,016	2	2,018
相川	1,224,900	235,898	1,460,798	2,892	55	2,947
緑ヶ丘	508,110	16,460	524,570	1,338	6	1,344
合計	16,434,079	2,325,028	18,759,107	51,453	492	51,945

※ 会員加入への働きかけ

前年度訪問法人への再依頼 29 法人

(うち加入法人数 12 法人、賛助会員会費 165,000円)

④ 事務局の管理運営等

ア 事務局の管理運営

文書の処理、人事管理、経理及び財産の管理等を行い、事務局の円滑な管理運営に努めました。

イ 月次巡回監査等の実施

「厚生労働省」社会福祉法人審査基準(第3の6の(1))に基づく専門家による財務会計に関する事務処理体制の向上に対する支援の趣旨に基づき、西迫会計事務所と社会福祉法人経理支援業務委託契約を締結し、月次巡回監査等を実施しました。

結果 財務会計に関する事務処理体制の向上に対する支援業務実施報告書(本書107ページ)のとおり

ウ 寄付等の受入れ

不要入れ歯回収手数料(6,613円)を受入れ、福祉事業の推進に役立てました。

⑤ 職員研修

神奈川県社会福祉協議会や福祉関係機関等による研修を職員が受講しました。

- 5月 日常生活自立支援事業初任者研修、新任職員研修、成年後見制度利用促進研修
- 6月 日常生活自立支援事業初任者研修、新任職員研修、市福祉部研修会
- 7月 新任職員研修、市包括ケア推進担当主催研修会
- 9月 安全運転管理者講習
- 10月 災害ボランティアセンター運営者研修、日常生活自立支援事業現任者研修、成年後見利用促進体制整備研修(基礎編)
- 11月 精神保健福祉地域包括ケアシステム研修、生活再建支援相談研修、法人後見現任者研修、生活(家計)再建相談支援に関する研修、障がい者虐待防止・権利擁護研修
- 12月 災害時における三者連携・協働に向けた研修会、法人後見現任者研修、成年後見利用促進体制整備研修(応用編)、内部職員研修①
- 1月 内部職員研修②、生活支援コーディネーターフォローアップ研修、かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク研修
- 2月 福祉有償運送研修、日常生活自立支援事業管理監督者研修、新任職員研修、障がい者協議会防災プロジェクト支援者向け研修会、災害救援ボランティアセンター運営スタッフ養成研修

⑥ 県央都市社会福祉協議会連絡協議会

県央都市社協連絡協議会へ参加し、情報交換、調査研究を行いました。

ア 幹事会

- 開催日 令和元年 7月 2日(火) ※資料送付による。
- 内容 令和元年度総会の事前協議

イ 総会

- 開催日 令和元年 7月 8日(月)
- 場所 座間市消防本部・消防署本署
- 内容 平成30年度事業報告及び決算、令和元年度役員選任、令和元年度事業計画(案)及び予算(案)、情報交換

ウ 幹部職員会

- 令和2年 3月10日(火)の実施予定が、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため延期

エ 会長会・幹事会 合同会議

- 令和2年 3月19日(木)の実施予定が、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため延期

オ 課題別職員情報交換会

- 開催日 令和2年 2月13日(木)
- 場所 座間市立総合福祉センター
- 内容 講義「困りごと相談からの他機関連携の実態  
～座間市の取り組みについて～」  
情報交換：社協相談窓口における担当行政との連携について



カ 役員対象研究会【再掲】

開催日 令和元年11月12日(火)  
 会場 座間市立総合福祉センター  
 内容 テーマ「ファンドレイジングの事例と社協運営の動向」  
 講師 (一社)日本地域福祉ファンドレイジングネットワーク COMMNET  
 理事長 久津摩 和弘 氏

参加者 理事9人

キ かながわビックレスキュー参加協力

開催日 令和元年 8月31日(土)  
 会場 伊勢原市総合運動公園  
 内容 災害救援ボランティアセンターの立ち上げ及び運営訓練

⑦ 社協あつぎの発行

ア 「社協あつぎ」第154号から第157号まで、それぞれ6月、9月、12月、3月の各15日に、4回発行しました。(自治会を通じて配布)

イ 広報委員会の開催

社協あつぎ	開催日	場所
第154号	令和元年 5月14日(火)	厚木市保健福祉センター
第155号	令和元年 8月 7日(水)	厚木市保健福祉センター
第156号	令和元年11月12日(火)	厚木市保健福祉センター
第157号	令和2年 2月14日(金)	厚木市保健福祉センター

⑧ 厚木市社会福祉大会の開催

第50回厚木市社会福祉大会の開催(厚木市と共催)

開催日 令和元年11月 9日(土)  
 場所 厚木市保健福祉センター  
 被表彰者等 表彰の部 68人、感謝状贈呈の部 1人・8団体  
 参加者 220人

⑨ 啓発宣伝・情報配信事業

本会ホームページなどを活用し、福祉情報の提供を行いました。また、フェイスブックにより本会の事業及び地区地域福祉推進委員会のイベント等の情報発信に努めました。

⑩ ふれあい基金

寄付採納件数・金額 2件 総額 400,000円

⑪ 善意銀行

ア 一般寄付

(ア) 寄付採納件数・金額 36件 総額 1,526,259円  
 (イ) 物品寄付 15件  
 内容 使用済み切手14件、車いす1件

イ 指定寄付

(ア) 寄付採納件数・金額 1件 総額 181,014円  
 使途の指定 交通遺児支援

(イ) 物品寄付 1件  
 内容 もいちどペーパー（トイレットペーパー）6,000ロール  
 用途の指定 市内障がい者施設及び障害者福祉事業所のために

- ⑫ 超高齢社会における医療・介護・福祉を考えるシンポジウムの開催  
 （医）三思会との共催により、医療・介護・福祉の各分野の現状と今後の方向性の共有を図ることにより、関係者及び市民に対して、地域包括ケア社会の実現に向けた意識の高揚を図ることを目的に、シンポジウムを開催しました。

開催日 令和元年10月31日（木）  
 場 所 厚木市文化会館小ホール  
 内 容 ア 基調講演  
 「望ましい最期とは」 講師 小堀 鷗一郎 氏  
 イ パネルディスカッション  
 「わが街の地域包括ケア社会の実現に向けて」  
 パネリスト  
 厚木医師会会長 馬嶋 順子 氏  
 清琉会理事長 原田 忠洋 氏  
 荻野地域包括支援センター管理者 畑 武子 氏  
 コーディネーター  
 三思会理事長 野村 直樹 氏  
 参加者 365人

## (2) 住民福祉活動推進事業【35,969,132円】

- ① 地区地域福祉推進委員会事業費の交付  
 15地区の地区地域福祉推進委員会の運営や活動を支援するため、総額30,629,000円を交付（別添参考資料参照）  
 交付金財源 賛助会員会費 7,529,000円  
 厚木市交付金 23,100,000円
- ② 地区地域福祉推進委員会活動への助成
- |                     |      |            |
|---------------------|------|------------|
| ア 食事サービス助成金         | 13地区 | 620,000円   |
| イ 広報活動助成金           | 15地区 | 210,000円   |
| ウ 高齢者ミニデイサービス事業等助成金 | 15地区 | 1,500,000円 |
| エ 子育て支援事業助成金        | 15地区 | 480,000円   |
| オ 青少年ふれあい事業助成金      | 14地区 | 280,000円   |
|                     | 合計   | 3,090,000円 |
- ③ 住民福祉活動推進事業
- |                                       |                   |             |
|---------------------------------------|-------------------|-------------|
| ア 見守り・支え合い活動助成事業                      | 10地区              | 650,000円    |
| イ 高齢者健康体操教室（地区地域福祉推進委員会が行う高齢者健康体操の支援） | 1地区@5,000×3回までの助成 | 6地区 85,000円 |
- ④ 地域福祉コーディネーター活動事業  
 地区地域福祉推進委員会の活動支援とともに、地域の高齢者世帯、障がい者世帯等の個別課題の発見や解決等を行うため、地域の特性に応じた支援や社会資源、地域資源の活用などをコーディネートする地域福祉コーディネーターを配置し、

地域福祉の推進に努めました。

相談件数 18件 内訳 高齢者関係 8件 障がい者関係 4件  
 自立支援 2件 ゴミ清掃(ヘルパー派遣) 4件

⑤ 地域福祉推進委員会連絡会議の開催

地域福祉推進委員会相互の情報交換及び研修の場として、地域福祉推進委員会連絡会議を開催しました。

1	開催日	令和元年 9月 6日 (金)
	場 所	アミューあつぎ
	参加者	各地区地域福祉推進委員会正・副委員長等 29人
	内 容	情報交換会 (1) 児童等を対象にした地区地域福祉推進委員会事業とその課題・改善策 (2) 高齢者を対象にした地区地域福祉推進委員会事業とその課題・改善策
2	開催日	令和2年 2月 6日 (木)
	場 所	アミューあつぎ
	参加者	各地区地域福祉推進委員会正・副委員長等 38人
	内 容	研修会 題名 「たすけあいの地域づくりについて ～地域福祉を推進していく上で必要なこと・視点～」 講師 認定NPO法人若葉台 理事長 白岩 正明 氏

(3) 福祉活動推進事業【4,259,859円】

① 障害者ガイドヘルパー等養成研修事業

福祉人材育成のため、神奈川県指定を受け同行援護従業者養成研修を実施しました。

同行援護従業者養成研修  
 一般課程及び応用課程

修了者 11人

	開催日・場所	内 容
1	令和元年10月11日 (金) 厚木市保健福祉センター	・開講式 オリエンテーション 〈一般課程〉視覚障害者(児)福祉サービス 〈一般課程〉同行援護の制度と従業者の業務 〈一般課程〉障害・疾病の理解① 〈応用課程〉障害・疾病の理解②
2	令和元年10月15日 (火) 厚木市保健福祉センター	〈一般課程〉障害者(児)の心理① 〈応用課程〉障害者(児)の心理② 〈一般課程〉同行援護の基礎知識 〈一般課程〉情報支援と情報提供
3	令和元年10月18日 (金) 厚木市保健福祉センター	〈一般課程〉代筆・代読の基礎知識 〈一般課程〉基本技能(演習)
4	令和元年10月21日 (月) 厚木市保健福祉センター 地下道 イオン厚木店	〈応用課程〉場面別基本技能(演習) 〈応用課程〉場面別応用技能(演習) 〈一般課程〉応用技能(演習)

	開催日・場所	内 容
5	令和元年10月28日(月) 厚木市保健福祉センター 神奈川中央交通東(株)厚木営業所 小田急線本厚木駅 相鉄線海老名駅	〈一般課程〉応用技能(演習) 〈応用課程〉交通機関の利用(演習) 〈応用課程〉場面別応用技能(演習) ・閉講式 修了証明書授与

※講師 神奈川県視覚障害者福祉協会 鈴木 孝幸 氏、福喜多 恭子 氏  
厚木市社協居宅介護事業所 小檜山季代子氏、小池美智代氏、飯野和子氏

② 福祉団体等助成事業

ア 厚木市障がい者体育大会実行委員会	100,000円
イ 福祉団体(10団体)	930,000円
ウ 一般会員組織への助成(3団体)	670,000円
エ 福祉推進団体への助成(1団体)	40,000円

③ 車いすの貸出事業

疾病やケガなどにより、一時的に車いすを必要とする方に貸出を行いました。  
延べ貸出件数 160件

④ 介護予防事業

住み慣れた地域で一日でも長く自立した暮らしができるように、脳の活性化を目的としてITの利用とコミュニケーションを繋ぎながら認知機能向上を目指す脳トレ体験講座を実施しました。

	開催日・場所	内 容	参加者
1	令和元年 7月10日(水)、11日(木) 厚木市保健福祉センター	脳トレ体験講座	16人
2	令和元年 7月24日(水)、25日(木) 厚木市保健福祉センター	脳トレ体験講座	15人

※講師 (株)都南自動車教習所 澤 幸恵 氏、小林 博 氏

⑤ 保育園児支援事業

保育所児童支援事業助成金として、総額1,260,689円を助成  
(47施設)

⑥ 福祉活動団体等の研修支援事業(マイクロバスの運行)

運行件数 40件(市内12件・市外28件)

⑦ 障害者週間啓発事業

啓発用のチラシに「障害者週間」の紹介と併せて、障がいの内容と特性、本会に設置されている「厚木市権利擁護支援センター」及び「福祉総合相談」の紹介、並びに「障害者週間即売会」の案内を掲載し、ポケットティッシュ1,500個に挟み込み、市民に配布しました。

#### (4) 共同募金配分金事業【1,512,499円】

##### ① 男の料理教室の開催

高齢者の健康維持と介護予防等を目的に、男性高齢者が正しい食生活のあり方を学ぶ場の提供として、アミューあつぎ6階クッキングスタジオを会場に男の料理教室を開催しました。

開催日	内容	参加者
令和 元年 7月19日(金)	調理実習	16人
令和 元年 9月20日(金)	調理実習	14人
令和 元年12月 6日(金)	調理実習	11人
合 計		41人

※講師 厚木市食生活改善推進団体厚味会

##### ② 障害者地域活動支援センターへの運営費の助成

障害者地域活動支援センター5事業所に対し、運営費として総額550,000円を助成

##### ③ 高齢者福祉施設一日体験事業の実施

中学生を対象に、ボランティア精神の育成並びに福祉教育の一助として実施。また、参加者から感想文の募集を行い、最優秀賞1点、優秀賞2点、佳作3点を選出し、最優秀賞作品については、「社協あつぎ」第157号に掲載しました。

施設名	実施日	参加者	感想文提出者
けいわ荘	令和元年 9月11日(水) 12日(木)	2人	2人
甘露苑	令和元年10月 5日(土)	4人	4人
メイサムホール	令和元年11月14日(木) 15日(金)	4人	4人
合 計		10人	10人

##### ④ 年末たすけあい配分金事業

共同募金年末たすけあい配分金で、障害者就労継続支援B型事業所と障害者地域活動支援センターの年末事業等に、総額850,000円を助成

障害者就労継続支援B型事業所…… 12事業所

障害者地域活動支援センター…… 5事業所

**(5) ボランティアセンター活動事業【9,524,248円】**

① ボランティアセンターの管理運営

ア ボランティア相談件数

(単位：件)

相談内容		対応内訳								件数
		情報提供、指導	情報周知	連絡調整	備品貸出	保険説明	講師派遣	募集資材掲出	その他	
活動相談	ボランティアの種類、方法	44	0	8	0	0	0	0	1	53
	団体の活動内容、参加方法	5	0	7	0	0	0	0	0	12
	実習、体験相談	1	0	2	0	0	0	0	0	3
派遣相談	派遣相談	3	0	5	0	0	0	0	0	8
	掲出依頼	1	19	1	0	0	0	0	0	21
活動指導	団体からの活動相談、指導	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	個人からの活動相談、指導	0	0	1	0	0	0	0	0	1
その他	団体への活動依頼方法	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	収集ボランティア(送付先等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	各種助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	備品貸出相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他の問合せ	0	0	4	0	0	0	0	2	6
計		54	19	28	0	0	0	0	3	104

イ ポスター掲示

ポスター 62枚

チラシ・パンフレット 593冊

ウ ボランティア保険

加入手続き 305件

事故処理 6件

エ ボランティアセンター利用状況

部屋名	利用者数(延べ人数)
研修室	13,189人
作業室	3,276人
点字作成室	4,716人
録音室	2,869人
対面朗読室	2,128人
合計	26,178人

オ ボランティアセンター登録（平成31年3月31日現在）

団体 85団体 4,600人

個人 35人

カ ボランティアセンター運営委員会の開催

開催日	令和元年 6月27日（木）
場所	厚木市保健福祉センター
出席者	8人
協議事項	(1) 平成30年度ボランティアセンター事業報告について (2) 令和元年度ボランティアセンター事業計画について

② ボランティア講座の開催

ア 傾聴講座

傾聴ボランティアの養成を図るため開催しました。

開催日	令和元年11月 1日、8日、15日、22日、29日 すべて金曜日
場所	厚木市保健福祉センター
講師	特定非営利活動法人P・L・A 理事長 後庵 正治 氏、小俣 眞佐美 氏
参加者	14人

イ 傾聴フォローアップ研修

話を「聴く」技術を学び、ボランティア活動に活かしてもらうため開催しました。

開催日	令和2年 2月14日（金）
場所	厚木市保健福祉センター
講師	特定非営利活動法人P・L・A 理事長 後庵 正治 氏、小俣 眞佐美 氏
参加者	21人

ウ 地域ボランティア養成講座

地区の福祉活動に携わる人材の発掘・養成と担い手の確保及び受講者のその後の継続的な地域活動を支援するため、地区地域福祉推進委員会と共催で地域ボランティア養成講座を開催しました。

1	共催地区	依知北地区地域福祉推進委員会
	開催日	1日目：令和元年 9月25日（水） 2日目：令和元年10月 4日（金） 3日目：令和元年10月17日（木）
	場所	1日目：依知北公民館 2日目：ふらっとステーションドリーム、交流広場 とつか（横浜市戸塚区） 3日目：依知北公民館
	講師	NPO法人くみんネットワークとつか 副理事長 島津 禮子 氏
	参加者	17人

	内 容	1 日目：ドリームハイツの活動紹介、ボランティアについて（講演） 2 日目：ふらっとステーションドリーム、交流広場とつか視察 3 日目：2 日間の振り返り
2	共催地区	睦合南地区地域福祉推進委員会
	開 催 日	1 日目：令和元年 1 月 1 8 日（土） 2 日目：令和元年 1 月 2 4 日（金）
	場 所	睦合南公民館
	講 師	認定NPO法人こまちぷらす 居場所づくりコーディネーター 多田 香菜 氏、大塚 朋子 氏
	参 加 者	4 8 人
	内 容	1 日目：こまちぷらす活動紹介、ワークショップ 2 日目：子育てサロンボランティア体験、振り返り

③ 福祉教育推進事業

小中学校における福祉教育推進のため、体験学習の講師を派遣しました。

福祉教育実施学校数	28 校（小学校 23 校、中学校 5 校）
講座開催数	94 回 延べ受講児童生徒数：7,403 人
内 訳	手話 22 校 22 回 延べ受講児童生徒数：1,947 人
	点字 21 校 21 回 延べ受講児童生徒数：1,829 人
	誘導 13 校 13 回 延べ受講児童生徒数：1,029 人
	車いす 18 校 18 回 延べ受講児童生徒数：1,375 人
	高齢者擬似体験 15 校 15 回 延べ受講児童生徒数：937 人
	認知症サポート 5 校 5 回 延べ受講児童生徒数：286 人

④ ボランティアグループ等への助成

ア	ボランティア団体活動助成金	37 団体 交付総額 935,000 円
イ	障がい者支援団体助成金	4 団体 交付総額 820,000 円

⑤ ボランティア情報の提供

ホームページ及びボランティアセンター掲示板等で情報の提供を行いました。

⑥ 災害ボランティア支援体制の強化

ア 災害救援ボランティア支援センター運営スタッフ養成講座

災害救援ボランティア支援センターの運営に係るスタッフの養成を図り、運営スタッフ登録をしてもらうため開催しました。

開 催 日	令和2年 2月22日（土）
場 所	厚木市保健福祉センター
講 師	公社 SL 災害ボランティアネットワーク 代表理事 濱田 政宏 氏
参 加 者	16 人（登録7人）



イ 厚木市との連携を図るため、災害救援ボランティア支援センターに関する打合せを実施しました。

開催日	令和元年 7月10日(水)、8月21日(水)
場所	厚木市本庁舎、市役所第二庁舎
出席者	10人、11人

ウ 災害救援ボランティア支援センター設置運営訓練を厚木市と連携して実施しました。

開催日	令和元年 9月 1日(日)
場所	厚木市保健福祉センター
参加者	75人

エ 協定書に基づく3者(青年会議所、厚木市、社協)における会議  
防災訓練(災害救援ボランティア支援センター設置運営訓練)の振り返り

開催日	令和元年10月 8日(木)
場所	厚木市役所第二庁舎
出席者	10人

⑦ ボランティア団体との共催による講座

ア 夏休み親子手話教室

親子で楽しみながら手話を体験及び学習することを目的に開催しました。

開催日	令和元年 7月29日(月)、30日(火)、31日(水) 全3回
場所	厚木市保健福祉センター
講師	厚木市手話サークルあゆの会
参加者	22人

イ パソコンサポートボランティア研修会

視覚障がい者のパソコン操作をサポートするボランティアの養成を図るため開催しました。

開催日	令和2年 2月25日(火)
場所	厚木市保健福祉センター
講師	厚木市障害者PCサポートクラブ
参加者	9人

ウ 福祉教育推進ボランティア養成講座

福祉教育推進事業の講師の養成を図るため開催しました。

開催日	令和2年 2月 4日(火)、5日(水) 全2回
場所	厚木市保健福祉センター
講師	福祉教育推進ボランティアあおぞら会
参加者	6人

エ 誘導法講座

誘導法を習得したボランティアの養成を図るため開催しました。

開催日	令和元年10月14日(月)、21日(月)、28日(月)、 11月 4日(月)、11日(月) 全5回
場所	厚木市保健福祉センター
講師	厚木市誘導赤十字奉仕団
参加者	42人(団員含む延べ人数)

オ 視覚障がい者の点字体験教室

視覚障がいのある方に点字と触れ合っていただくことを目的に開催しました。

開催日	令和元年10月31日(木)
場所	厚木市保健福祉センター
講師	厚木市点訳赤十字奉仕団
参加者	10人(団員含む)

カ 音声訳ボランティア講座

音声訳ボランティア講座を開催しました。

開催日	令和元年9月12日から令和2年2月28日
場所	厚木市保健福祉センター
講師	厚木市点訳赤十字奉仕団
参加者	15人

**(6) 資金貸付事業【7,978,629円】**

① 生活福祉資金の申込受付

低所得者等の経済的自立及び安定した生活の促進を図るため生活福祉資金制度の申込受付を行いました。

資金の種類	貸付件数	貸付額
緊急小口資金	2件	170,000円
特例 緊急小口資金	16件	2,600,000円
教育支援資金	11件	8,962,000円
福祉資金	3件	1,156,000円
合計	32件	12,888,000円

※ 生活福祉資金の貸付金については、原則、神奈川県社会福祉協議会から借受者の口座に振込まれます。

② 緊急援護資金の貸付

一時的に生活に困窮し、緊急に援護が必要と認められた世帯に対し、生活資金の貸付を行いました。

貸付金額	貸付件数	貸付額
10,000円未満	23件	134,000円
10,000円以上 20,000円未満	45件	630,000円
20,000円以上 30,000円未満	46件	1,118,000円
30,000円	53件	1,590,000円
合計	167件	3,472,000円

③ 行旅人の援護

行旅人援護のため、旅費の一部の貸付を行いました。

**(7) 在宅援護等事業【1,349,301円】**

① ひばり号の運行の実施（移送サービス事業の実施）

高齢、障がいなどにより単独での移動が困難な方を対象に、有料で通院等の移送サービスを実施しました。

(単位：件)

	利用 件数	利用用途		利用先	
		通院	通院外	市内	市外
4月	90	65	25	82	8
5月	66	37	29	56	10
6月	87	56	31	72	15
7月	87	50	37	73	14
8月	83	68	15	68	15
9月	69	48	21	62	7
10月	58	40	18	47	11
11月	77	54	23	68	9
12月	80	57	23	65	15
1月	80	31	49	69	11
2月	76	47	29	68	8
3月	53	34	19	43	10
合計	906	587	319	773	133

② あつぎしあわせライフサービスの実施（有料在宅援護サービス事業）

高齢、障がい、疾病のほか、ひとり親家庭などにより、日常生活においてサポートを必要とする家庭に対し、市民の参加と協力により、有料で家事援助や介助などのホームヘルプサービスを提供しました。

ア 利用実績

(単位：人、件、時間)

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
高齢者	利用者数	7	7	9	8	4	8	5	9	8	5	7	5	82
	件数	16	12	15	14	10	13	9	17	12	8	11	9	146
	時間数	25	21	24	25	20	25	15	32	24	12	21	17	261
障がい者	利用者数	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	5
	件数	1	0	0	0	1	0	1	0	2	0	1	0	6
	時間数	5	0	0	0	3	0	4	0	6	0	3	0	21
育児者	利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	時間数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	利用者数	8	7	9	8	5	8	6	9	9	5	8	5	87
	件数	17	12	15	14	11	13	10	17	14	8	12	9	152
	時間数	30	21	24	25	23	25	19	32	30	12	24	17	282

イ 利用会員登録者数 37人

高齢者：25人、障がい者：7人、疾病者：2人、育児者：3人

- ウ 協力会員（ヘルパー）登録者 21人  
 資格取得状況  
 介護福祉士：5人、ヘルパー1級：2人、ヘルパー2級等：9人  
 介護職員初任者研修：1人

- ③ 災害見舞金の支給  
 災害罹災世帯に対して見舞金を支給しました。

区分	件数	支給額	備考
全焼	9件	210,000円	@30,000円×3、@20,000円×6
半焼	5件	50,000円	@10,000円×5
半壊	2件	25,000円	@15,000円×1、@10,000円×1
負傷	1件	15,000円	@15,000円×1
合計	17件	300,000円	

## 2 権利擁護支援センター

### (1) 権利擁護支援事業【3,837,841円】

#### ① 成年後見支援事業

##### ア 成年後見活用講座

(ア) 開催日 ①令和元年 5月20日(月)、②令和元年 5月22日(水)

場 所 ①秦野市文化会館、②平塚市保健センター

内 容 成年後見制度の診断書の書式改訂について

講 師 横浜家庭裁判所小田原支部

共 催 神奈川県社協、伊勢原市社協、秦野市社協、平塚市社協、厚木市社協

参加者 横浜家庭裁判所小田原支部の管轄区域の福祉等関係者

(イ) 開催日 令和2年 2月 6日(木)

場 所 厚木市保健福祉センター

内 容 市民を対象にした「任意後見制度の活用について」の講座

講 師 司法書士 林 真吾 氏

参加者 24人

##### イ 出張説明会

地域に出向いて成年後見制度勉強会を実施しました。

開催日 令和2年 1月 9日(木)

場 所 厚木市保健福祉センター

内 容 厚木市自閉症児者親の会を対象に成年後見制度勉強会を実施

講 師 かながわ成年後見推進センター 社会福祉士 西谷 あけみ 氏  
 本会職員

参加者 35人

##### ウ 成年後見相談

成年後見制度の概要や利用方法等について、司法書士による相談を毎月第2・第3水曜日(13:00~15:00)に実施しました。

(単位：回、件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談回数	2	1	1	1	1	1	0	2	2	1	2	2	16
相談件数	3	2	2	1	2	1	0	2	2	2	5	2	24

エ 市民後見人の育成

- (ア) 法人後見事業の被後見人及び日常生活自立支援事業の利用者に対して、支援計画に基づき、生活支援員の支援活動に同行して実務を体験しました。

日 程	参加者
令和元年 9月 4日 (水) から令和2年 3月 24日 (火) の間	5人

- (イ) 市民後見人受任ケースの家庭裁判所への報告書作成に関する打ち合わせ

実施日 令和2年 1月 20日 (月)

場 所 厚木市保健福祉センター

- (ウ) 専門的研修

開催日 令和2年 2月 6日 (木)

場 所 厚木市保健福祉センター

内 容 成年後見制度活用講座「任意後見制度の活用」について

講 師 なみき通り司法書士事務所 司法書士 林 真吾 氏

参加者 24人

- ② 後見人等候補者の推薦等を行うため、受任調整会議を設置し会議を開催しました。

開催日・場所	協 議 事 項
令和元年 6月 18日 (火) 厚木市保健福祉センター	(1) 市民後見人候補者の名簿への登録更新について (2) 市民後見人活動状況について (3) 法人後見活動状況について
令和元年 9月 20日 (金) 厚木市保健福祉センター	(1) 法人後見候補者選任案件について
令和元年 10月 25日 (金) 厚木市保健福祉センター	(1) 法人後見候補者選任案件について
令和2年 3月 3日 (火) 厚木市保健福祉センター	(1) 法人後見選任と市民後見人候補者推薦案件について (2) 市民後見人追加選任申立て推薦案件について

※ 受任調整会議において市民後見人候補者として選定された者が、令和2年3月31日付で横浜家庭裁判所小田原支部から後見人の選任がなされ、市内2人目の市民後見人が誕生しました。

- ③ 成年後見制度による法人後見 2件

- ④ 市民後見人との意見交換会

開催日 令和2年 2月 19日 (水)

場 所 伊勢原シティプラザ

内 容 成年後見制度の利用促進と市民後見人への期待

スーパーバイザー

成年後見ぱあとなあ神奈川 社会福祉士 田中 晃 氏

参加者 伊勢原市、海老名市、藤沢市、厚木市の市民後見人養成講座  
修了者

⑤ 高齢者・障がい者虐待通報受付（24時間体制での受付）

受付件数 19件

内訳 高齢者関係4件、障がい者関係15件

⑥ 虐待防止研修会

虐待防止ネットワーク会議と連携し、研修会を開催しました。

開催日・場所	内 容	参加者
令和元年11月18日（月） 厚木市民交流プラザ アミューあつぎ	「虐待のない社会をつくろう」	40人

※講師 社会福祉法人悠々倶楽部 ライフステージ・悠トピア  
支援課長 中村 智栄 氏、担当課長 徳永 弘樹 氏

⑦ 福祉総合相談

市民の日常生活における福祉に関する様々な心配事、悩み事、困り事など、あらゆる福祉問題に幅広く気軽に相談できる窓口として、「福祉総合相談」を常時、開設しました。

（単位：件）

相談項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
福祉サービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
保健・医療	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
家族関係	0	4	3	1	0	0	0	1	1	0	0	0	10
住宅関係	0	0	2	2	0	0	0	0	0	1	0	1	6
認知症関係	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
離職・就労関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活困窮	11	27	12	29	13	17	12	20	16	16	12	36	221
その他	8	10	10	7	16	7	12	13	6	15	10	16	130
合計	22	41	27	39	30	24	24	34	23	32	23	52	371
受 理 来 訪	18	31	17	30	26	16	17	25	17	25	12	36	270
方 法 電 話	4	10	10	9	4	8	6	9	6	7	11	16	100

⑧ 終活相談

身寄りがない高齢者等が自分らしい人生の最期を迎えることができるよう適切な助言等を行うため、終活相談を実施しました。 相談件数 7件

**（2）日常生活自立支援事業【6,852,888円】**

認知症や障がいにより、日常生活上の判断能力が十分でない方に対し、福祉サービスの利用手続き、預貯金の出し入れなどの金銭管理や書類預かりを行い、日常生活の自立を支援しました。

① 新規契約件数・・・・・・・・・・11件

福祉サービス利用援助契約・・・・・・・・11件

（高齢者5件、精神障がい者6件）

② 終了件数・・・・・・・・・・8件

福祉サービス利用援助契約・・・・・・・・8件

（高齢者6件、精神障がい者2件）

書類等預かりサービス利用契約・・・・・・・・・2件  
 (高齢者2件)

- ③ 利用契約件数(令和2年3月31日現在)・38件  
 福祉サービス利用援助契約・・・・・・・・・38件  
 (高齢者14件、知的障がい者2件、精神障がい者19件、身体障がい者3件)

④ 新規契約等についての内部カンファレンスの開催

開催日・場所	協議事項
平成31年 4月22日(月) 社協相談室	(1) 新規ケースについて(1件)
令和元年 5月31日(金) 社協相談室	(1) 新規ケースについて(2件) (2) 支援計画の変更について(3件) (3) 契約変更(代行契約終了→代理契約)について(1件)
令和元年 6月14日(金) 社協相談室	(1) 新規ケースについて(1件) (2) 支援計画の変更について(1件)
令和元年 7月31日(水) 社協相談室	(1) 新規ケースについて(1件)
令和元年 9月18日(水) 社協相談室	(1) 支援計画の見直しについて(10件)
令和元年10月25日(金) 社協相談室	(1) 新規ケースについて(2件)
令和元年12月24日(火) 社協相談室	(1) 新規ケースについて(3件)
令和2年 1月14日(火) 社協相談室	(1) 新規ケースについて(1件)
令和2年 2月27日(木) 社協相談室	(1) 新規ケースについて(1件) (2) 通帳等の管理体制について
令和2年 3月27日(金) 書面開催 ※新型コロナウイルス感染予防のため	(1) 新規ケースについて(1件) (2) 契約継続(38件)と支援計画見直し(3件)について

### 3 居宅介護事業【13,203,158円】

障害者総合支援法における居宅介護事業所として障がい福祉サービスを提供しました。

① 利用契約状況等（令和2年3月31日現在）

ア 利用契約者数 35人（視覚障がい者）

イ 従業者（ヘルパー） 27人

資格取得状況（資格の複数取得者20人）

介護福祉士：5人、ヘルパー2級：13人、同行援護従業者養成研修修了（応用課程）：25人

② 令和元年度利用実績

ア 居宅介護事業

（単位：人、件、時間）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
家事援助	利用者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	件数	7	6	7	6	6	4	6	7	7	7	8	78
	時間数	14.8	12.3	14.8	12.8	12.3	8.3	13.3	15.3	15.5	15.5	14.8	167.2
通院補助	利用者数	1	1	0	1	0	0	1	1	0	1	0	7
	件数	1	1	0	2	0	0	1	1	0	1	0	8
	時間数	5.0	5.0	0	10.0	0	0	5.0	5.0	0	5.0	0	39.0
合計	利用者数	2	2	1	2	1	1	2	2	1	2	1	18
	件数	9	7	7	8	6	4	8	8	7	8	7	88
	時間数	19.8	17.3	14.8	22.8	12.3	8.3	18.3	20.3	15.5	20.5	14.8	206.2

イ 同行援護事業

（単位：人、件、時間）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
同行援護	利用者数	29	27	31	28	27	26	28	26	24	25	26	321
	件数	150	150	158	147	122	124	140	145	124	130	133	1,638
	時間数	740.5	730.5	772.0	677.0	597.5	610.5	686.5	733.0	553.0	641.0	663.0	7,883

### 4 喫茶・売店事業【8,237,041円】

公益事業として、障がい者の雇用の場の確保と利用者の利便性向上のため、厚木市保健福祉センター内で、次の事業を実施しました。

① 喫茶事業（ともしびショップの経営）

喫茶どんぐり（厚木市保健福祉センター1階）の設置経営

年間237日営業

延べ利用者：3,810人

② 売店事業（ともしびショップの経営）

売店どんぐり（厚木市保健福祉センター1階）の設置経営

年間237日営業

延べ利用者：3,757人

※ 市内中学校特別支援学級の生徒を、職場体験として受け入れました。

1 睦合中学校 令和元年 9月12日（木）～13日（金）2年生 2人

2 南毛利中学校 令和元年11月14日（木）～15日（金）2年生 1人

③ 厚木市保健福祉センター内における清涼飲料水の自動販売機の設置（6台）



## 5 自動販売機設置事業【594,199円】

収益事業として、市内公共施設に清涼飲料水等の自動販売機を設置し、本会福祉事業の財源確保を図りました。 計61台

## 6 その他

不要入れ歯リサイクルボックスの設置

厚木市保健福祉センター1階 大型回収ボックス1台

厚木市老人福祉センター寿荘 小型回収ボックス1台